



学校運営協議会だより

～コミュニティスクール～

No.02

令和3年1月15日

発行：CS担当

【教育目標】小樽の未来をつくる 北陵生の育成 【重点】「未来につながる力を育てる」～小中一貫教育の推進～

学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）について

本校は、昨年度に学校運営協議会制度を導入し、コミュニティ・スクールとなって今年で2年目となります。この制度は、学校と地域が力を合わせて学校の運営に取り組む「地域とともにある学校づくり」への転換を図るための有効な仕組みです。12名の委員からなる「学校運営協議会」は、今年度は年3回行われ、校長が作成する学校運営の基本方針の承認、学校運営についての意見交換などを行っています。本校では、地域の声を積極的に生かしながら、特色ある学校づくりを進めていきます。

コミュニティ・スクールの主な3つの機能

- ▶ 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。
- ▶ 学校運営について、教育委員会または校長に意見を述べるができる。
- ▶ 教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる。

第2回 学校運営協議会の中で頂いたご意見等



第2回の学校運営協議会を昨年12月22日に開催しました。飛沫感染対策として透明の亚克力パーティションを設置した上での実施でした。協議会では、2学期の活動の様子や学校評価、コロナ禍における課題等について、各委員の皆様から貴重なご意見を頂きました。

【協議事項や主なご意見など】

●見学旅行や宿泊研修の実施の様子について

⇒感染状況が比較的落ち着いていた9月末にいずれも実施することができ、大変有意義であった。課題は多いが、次年度の旅行的行事についても検討をすすめてほしい。

●コロナ禍での子どもたちの気持ちや精神的な状態について

⇒目に見えないストレスを抱えている。校長面談の中では、このまま大人になったらどうなるのかと不安を訴える生徒もいる。朝の登校の見守りでは、さわやかなあいさつをしてくれる生徒が多く、マスクもきちんと着用している。33SKILLの「ストレス対処能力」があると自己評価する生徒の割合が増えてきている。

●インターネットの環境について

⇒通信量の制限や配信での工夫等の課題もあるが、オンライン学習・学習保障のための準備を着実に進めている。継続して欲しい。

●スクールサポートスタッフによる除菌など

⇒教職員の業務の軽減につながっている。

学校運営協議会 委員名簿

番	職名	氏名	役職	就任日
1	会長	遠藤友紀雄	元北陵中学校評議員	H31.4.1
2	副会長	荒谷しげ子	手宮連合町会長	H31.4.1
3	委員	佐藤 隆	清水町会長	H31.4.1
4	委員	北川 和子	民生主任児童委員	H31.4.1
5	委員	美野本明美	民生児童委員	新任
6	委員	船島 英婦	特別養護老人施設「はる」施設長	H31.4.1
7	委員	村岡 亘	北陵中学校 PTA 会長	H31.4.1
8	委員	日野 真湖	北陵中学校 PTA 副会長	新任
9	委員	横澤 里美	北陵中学校 PTA 副会長	新任
10	委員	宮澤 知	北陵中学校長	H31.4.1
11	委員	庄司 真人	北陵中学校教頭	H31.4.1
12	委員	齊藤 敏弘	北陵中学校主幹教諭	新任